

# 大阪のスマートシティ戦略について

2019年11月26日（火）

大阪府知事 吉村 洋文  
大阪市長 松井 一郎

# 大阪がめざすスマートシティ

- 「大阪のスマートシティ」は、大阪・関西万博に向け、規制緩和等を活用し、最先端の取組を推進するとともに、先端技術の利便性を活用し、住民の生活の質の向上、都市機能の強化をめざす。

## 大阪・関西万博に向けた取組

2025年大阪・関西万博に向け、大胆な規制緩和等を活用することにより、「未来社会の実験場」にふさわしい、世界に類のない最先端技術を実証・実装。



## 大阪府域全体の取組

住民生活の質(QoL)の向上や都市機能の強化を図っていくため、世界の先進都市等の事例も参考にしながら先端技術を積極的に活用し、スマートシティの基盤を確立。

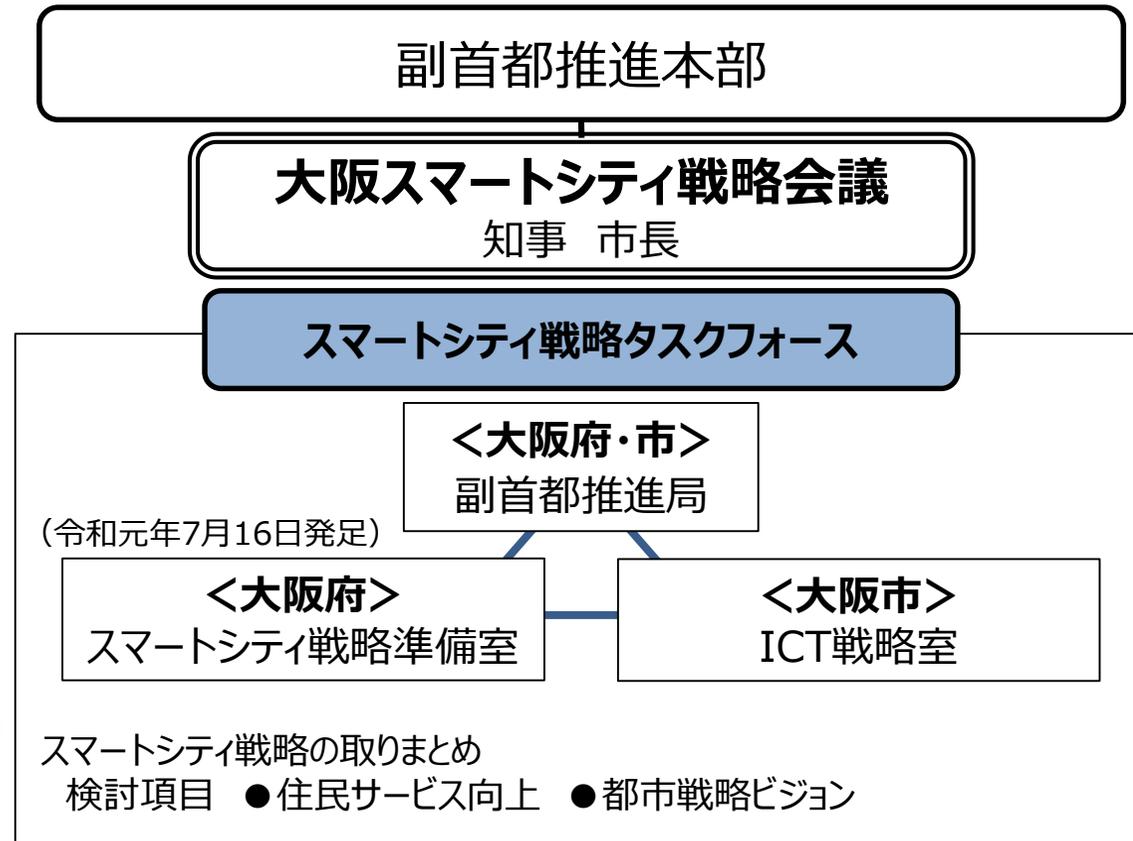


大阪モデルのスマートシティの実現

# 「大阪スマートシティ戦略」の目的と経緯

- 今年7月、府に「スマートシティ戦略準備室」を設置。大阪府・市協働で「スマートシティ戦略」を検討。
- 年度内に戦略をとりまとめ、来年4月には本格的な推進組織を立ち上げ、取組を加速。

- ◆5月 副首都推進本部会議において、府域全体でスマートシティを推進することを決定
  - ◆7月 府にスマートシティ戦略準備室を設立
  - ◆8月 スマートシティ戦略会議を立ち上げ（11月までに4回開催）
- ↓
- ◆11月 「大阪スマートシティ戦略」中間まとめ  
⇒ 年度末に最終とりまとめ



➤ 現場を重視した実践的な戦略を構築・推進するため、3つの基本姿勢に基づき検討。

## 住民QoLの向上

- 住民が実感できるかたちで、「生活の質（QoL）の向上」をめざす
  - ✓ 技術ありきではなく、課題解決ありきのアプローチにより、住民が実感できるかたちで生活を変える。

## 公民連携 (マッチング)

- 公民連携による「民間との協業」が大前提
  - ✓ 自治体だけでは解決しえない社会課題について、企業が持つ先進テクノロジーやアイデアをマッチングし、新たな解決策を見出す。

## 社会実装

- 「技術実験」に留まらず、「社会実装」まで追求する
  - ✓ 何のためにやるのか、目的意識を明確化し、社会実装・産業化に向けた取組を重視。その際、万博に向けた官民の動きを最大限活用。

# 市町村（ニーズ）と企業等（シーズ）のマッチング

- 市町村の取組を促進するための連絡会議を設置。行政や地域のあり方を変えるデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進。
- 府は市町村をサポートするとともに、コーディネータ役として、市町村の地域課題を解決できるソリューションを有する民間企業等をマッチングする仕組みを構築。



## 大阪府内市町村スマートシティ推進連絡会議

【行政のICT化WG】  
⇒役所内のDXをサポート

【地域デジタル化WG】  
⇒地域のDXをサポート

# 大阪で当面取り組むテーマ

- 戦略の対象分野は多岐にわたるが、大阪が抱える課題に即し、取り組むべきテーマを予め設定。
- 当面は「行政DX」と「移動・モビリティ」について、先行して具体的な実装に取り組む。

分野	行政DX	移動・モビリティ
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ アプリ</li> <li>◆ 電子申請</li> <li>◆ オープンデータ</li> <li>◆ キャッシュレス化</li> <li>◆ SNS相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ラストワンマイル</li> <li>◆ モビリティ関連技術の実用化・産業化</li> <li>◆ MaaS</li> </ul>
大阪府内の 先行事例	<p><b>【四條畷市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ オンラインによる住民票の取得</li> <li>✓ 窓口手数料のキャッシュレス化 (QRコードによる手数料支払い)</li> <li>✓ LINEを用いたまちづくり (市民による道路の陥没情報等の提供)</li> <li>✓ オンライン面接を活用した職員採用 など</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p><b>【河内長野市】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自動運転モビリティによる移動支援 (南花台地区)</li> </ul> <p>⇒ 住民の高齢化や坂が多い地形による移動問題解消のため、住民主体の運営組織を立ち上げ。まずは2019年12月よりAIオンデマンド走行を実装予定。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffffcc;"> <p>車両は7人乗りの電動ゴルフカート。予約にはアプリと電話を活用。</p> </div> </div>

# 今後のスケジュール（イメージ）

- ▶ 大阪・関西万博が開催される2025年頃を目途に「大阪モデル」のスマートシティの基盤を確立。
- ▶ 万博のレガシーとの相乗効果により最先端技術を大阪が先導する未来社会を実現。

万博に向けた  
未来社会の  
実験場  
(夢洲)



大阪全体での  
スマートシティ

